令　和　８　年

第10回教育委員会会議録

（開会　令和８年８月19日）
（閉会　令和８年８月19日）

岐阜県可児市教育委員会

令和８年８月19日午後２時00分開会
会場：市役所４階第３会議室

出席委員

堀部好彦君（教育長）　　梶田知靖君（教育委員）
小栗照代君（教育委員）　　長井知子君（教育委員）
瀬川登美子君（教育委員）

説明のために出席した者

宮原伴典君（事務局長）　　倉知真弓君（教育総務課長）
上北泰久君（学校教育課長）　　後藤道広君（学校給食センター所長）
奥田晋也君（学校教育課主任指導主事）　　杉本和昭君（教育研究所主任指導主事）
池田麻実君（学校教育課学校支援係長）　　平野靖之君（学校教育課指導主事）
青木裕介君（教育研究所指導主事）

出席委員会事務局職員

山田雄太君（教育総務課総務係長）　　伊藤師啓君（教育総務課総務係）

日程及び審議結果

１　開　会
２　令和８年第７回及び第８回会議録の承認
３　教育長報告
４　教育委員報告
５　議　事
　①議案第24号　教育に関する予算の意見について（令和８年度可児市一般会計補正予算（第３号））（原案可決）
　②議案第25号　令和７年度可児市教育委員会事務の点検・評価について（原案可決）
　③議案第26号　要保護及び準要保護児童生徒の認定について（原案可決）
　④議案第27号　重大事案に対する調査について（原案可決）
６　各課所管事項
７　委員からの提案協議事項
８　その他
９　閉　会

開会　午後２時00分

開会の宣告

○　**教育長（堀部好彦君）**　皆さん、こんにちは。

これから令和８年第10回の教育委員会会議を開催いたします。

定足数につきましては、出席委員が過半数を満たしておりますので、この会議は成立するということでよろしくお願いします。

令和８年第７回及び第８回会議録の承認

○　**教育長（堀部好彦君）**　令和８年第７回及び第８回の会議録の承認について。

○　**教育総務課長（倉知真弓君）**　令和８年第７回及び第８回の議事録に変更はございません。以上です。

○　**教育長（堀部好彦君）**　変更はなしということで、よろしくお願いいたします。

教育長報告

○　**教育長（堀部好彦君）**　教育長報告でございますが、本日は１点お願いをします。

机上にお配りしました市長フォーラム2026の資料を御覧ください。

これは全国市長会の最新の機関紙「市政」に掲載されているもので、市長フォーラム2026で講演をされた尾木直樹先生のお話の中身がまとめられているものです。全国市長会の集まりということですので、もちろん冨田成輝市長を含め、何百人と集まった講演会だったということのようです。

この講演のタイトルは、こちらにございますように「教育は未来への投資～教育からの地方創生～」ということでございます。私たちは、尾木直樹先生にはいじめ防止専門委員会の特別顧問として長年お付き合いがあり、大変お世話になって、毎年１回可児市に来ていただいていろいろな話を伺っています。そういう中で私たちは尾木先生の教育観に学んでいるわけですけれども、この講演のまとめにも尾木先生の教育観満載だなと思っています。ぜひこれ、お時間あるときに読んでいただけるとありがたいです。結構量がありますので、読み応えもありますけれども、何とか時間を取って読んでいただけるとありがたいです。

その中で、大変うれしい話ですので、少し紹介をさせてください。

この講演、１時間半ぐらいあったんですけれども、その中で二、三十分を割いて可児市の教育のすばらしさについて触れられていたそうです。この講演のまとめには、その部分が、資料のページでいくと９ページです。

９ページの一番下の段、「首長の姿勢が地域を創る」とある、ここからですね。ここからその次のページにわたって、10ページ最後のところまで可児市のことがほとんどこれに書いてあります。ほとんどこれが可児市のことなんですね。だから、紙面の割合から見ても、いかに講演の中で時間を割かれたのかということがこれでも分かるわけですけれども、「笑顔の“もと”」を育む学校づくりについて高く評価をしていただいていること、そして不登校対策や多文化共生の取組についても触れておられて、可児市の取組のよさが価値づけられているということで、私としては大変うれしく思っています。

その中で、今日取り上げたいのはここです。10ページの真ん中の段、３行目です。こ

こを少し読みます。

子育ての課題を自治体と市民が協力・協働し、信頼し合って解決しようとする地域の力が向上したからだと私は考えています。特に重要なのは信頼です。可児市を訪れると、行く先々で行政や学校などに対する信頼感があふれていることを感じます。

大変これもうれしく思います。可児市の教育、子育ての施策がいろいろなところで推進されている理由として、信頼があったとおっしゃっているんですね。そして、これは何かの資料を見て尾木先生が考えられた、感じられたということではなくて、可児市を訪れて、行く先々で感じておられるという実感されていることなんですね。何かの報告書を見て思ったとか、そういうことではなくて、ここに私は本当に喜びを感じるわけです。

その例として、尾木先生は子育て相談会のことを挙げておられるんですが、ほかにも例えば、ここには書いていないんだけれども、みまもりオアシスで370以上の事業所や御家庭、民家が手を挙げてくださっている。これも学校や行政の信頼の表れじゃないでしょうかね。これはすごいことだと思っているんですけれども、そういった学校や行政、教育委員会の信頼をこれからも大切にして、その信頼を得る可児市にしていくために、教育委員会として何をこそすべきなんだろうかということを私たちは考えていきたいなと思いました。ほかにもいろいろなことを感じたわけですけれども、私の感想としてはその１点にとどめておきます。

繰り返しますが、尾木先生の教育観あふれる講演の中身でございますので、ぜひこの中身に触れて、今後のお仕事に、皆さんの働きかけに役立てていただけるとありがたいです。以上です。

教育委員報告

○　**教育長（堀部好彦君）**　それでは、教育委員報告に入ります。

○　**教育委員（梶田知靖君）**　よろしくお願いします。

先日の臨時教育委員会議のほうは欠席をさせていただき、申し訳ございませんでした。

教育委員報告は特にないのですが、私の仕事で、可児市の小・中学校を私は消防設備の点検ということで回らせていただいています。先日東京都のほうで火災があって、実際に避難救助袋が使えなかったというところのお話もちょっと話題にはなっていまして、つい最近ですと中部中学校と、あと昨日なんかは西可児中学校なんですけど、実際に先生方にレクチャーしながら実際に下りていただいたり。

○　**教育長（堀部好彦君）**　実際に使って。ありがとうございます。

○　**教育委員（梶田知靖君）**　はい。何名かの先生が体験をしていただきました。

やはり今回のことがあって、どの先生も大分興味を示していらっしゃいました。実際に降りようとすると、最初はすごいやっぱり怖いというイメージがあったそうですけれども、実際に下りてみると、そこまで恐怖感もなかったと。

それから、先日蘇南中学校へお伺いして、木村校長とお話をして、この避難器具のお話ではないですが、私が学校訪問等でお伺いしたときに、いろいろ教育総務課が動いてくださって、この教育委員会議の場でもお話ししたセコムの切替えであったりとか、あと駐車場問題というところで中庭のところを今整備してくださっているというところで、

とても感謝していらっしゃいました。ありがとうございます。以上です。

○　**教育長（堀部好彦君）**　ありがとうございます。

火災に関するもので、避難袋についてのお仕事もあってということで、先生方の啓発に大変役立っていると思います。本当にありがとうございます。

学校の危機管理というのは本当に様々いろいろあると思うんですけれど、常にいろいろな危機管理を意識し続けるというのは至難の業ですね。そういう中で、事が起こったときに、自分の学校でということではなくて、他市・他県で事が起こったときに、自分の学校でもし起こったらという見方で、備えだとか、いろいろなシステムについて見返す、振り返ってみるというのはとても大切だと思っております。今回の東京での火災についても同じように思うわけですけれども、大変いい働きかけをしてくださっております。

同様に熊本の大地震、それから千葉の豪雨災害、これも同じだと思います。事が起こったときに、じゃあ自分たちのまちでは、自分たちの学校ではと考えていくことがとても大切なんじゃないかと思っています。

そういった意味で、私は教育総務課に依頼をしていることで、熊本地震を受けて、あの地震の災害の様子、被害の様子等はずっと今も継続して報道されているわけですけれども、自分の学校で起こったらということで備えを、準備を改めて振り返っていただきたい、確かめていただきたいということで、東南海の地震が起きたとき、震度５以上が起こったときの動きについては、既に確認はされているわけですけれども、その再確認のために、関係の資料をメールで送っていただいて、必ず授業開始日までに地震の備えについて、対応について確認するようにということをお願いしておりますので、御承知おきください。

○　**教育委員（小栗照代君）**　よろしくお願いします。

教育委員としての活動はなかったんですけれども、私の担当校ではないですけど、小学生のお子さんを持つママたち数人の方とお話しする機会があって、お話をしていたんですけれども、キッズクラブでふだんの放課後も見ていただいて大変助かっているんですけれども、この夏休み期間もしっかりと見てくださって本当に助かっているという方が何人も土田小学校でありました。

そして、家ですと、やはりなかなか夏休みは規則正しい生活はできないんですけれども、家の方がいらっしゃるということもありますけれども、キッズクラブに預けることによって、しっかりと生活面もきちんとしたことをしていただいて、宿題もやったりとかして大変助かっているとお聞きしました。

あと、そこで出たのが夏休みの宿題の話で、学校によって宿題の量が違うというようなお話、それぞれ学校によって多分いろいろな方針であったりとか、意味合いがあるのかなと思ったんですけど、お一方が土田小学校でほとんど宿題が出ていないと。ほかのお母様方と話をすると、１学期というか夏休み前の復習とか、そういったことも各家庭でやらなければいけなくて、差が出てしまったりとかしているんじゃないのかなとちょっと不安に思っていらっしゃるところもありましたので、そういったことで、それがいいか悪いか、宿題が多いのがいいのか、少ないのがいいのかは分からないですし、それぞれの学校の方針であったりとかというのもあると思うんですけれども、そういったお

声もありましたので、お伝えさせていただきます。

それと、今災害の話が出たんですけど、私ごとですが、仕事で商業施設のほうにお店を持っていますので、熊本の件でやはりすぐに情報が来まして、例えば車のキーとか、スマホとか、大事なものを常に身につけておくようなことを指示してくださいということがすぐにそれぞれの商業施設から展開されてきました。学校のほうですと、子供をもちろん最初に保護しなければいけないんですけれども、同じように先生方も大事なものを職員室に置いていらっしゃって、後で取りに行くようなことはもちろんないと思うんですけれども、そういったこともまたこの機会に見直していただけるといいのかなと思いました。以上です。

○　**教育長（堀部好彦君）**　そうですね。大地震の後に、箱物に、建物に戻ることの是非ということについて随分今回考えさせられますね。ありがとうございます。

それと夏休みの課題についてなんですけれども、今言われた学校が、宿題がないと親御さんが捉えられているようなんですけれども、本当にそうなのかなと私は思うんですけれども、学校が夏休みにどんなふうに子供たちに過ごしてほしいのかということについては、何らかの指導があるのではないかなと思って、何もやらないということは、私はないような気がするんですが。

○　**教育委員（小栗照代君）**　ゼロではないです。

○　**教育長（堀部好彦君）**　量が少ないという意味。

○　**教育委員（小栗照代君）**　そうですね。本当に１日ぐらいで終わってしまうので、あと例えば夏休みの研究だったりとか、ポスターを描いたりとか、そういったものはやりたい人がやればいいよというようなことになって、課題が全然ないんですというようなことをおっしゃっていらっしゃって。すみません、私も聞いたことで申し訳ないんですけれども。

○　**教育長（堀部好彦君）**　そうですね。それもどういう考え方で夏休みを、夏休みに何をする、夏休みの値打ちをその学校はどう捉えているかということだろうと思うんですけれども、こんなことが話題になったということは、校長会、教頭会で広めていくことも大切じゃないかと思いますので、よろしくお願いいたします。

親御さんが学校の意図を十分理解されていないのであれば、そこは理解を促さないといけないし、本当に親御さんの言われるとおりであれば、夏休みの値打ちについて十分伝わっていないということであれば、僕は、そこは考えなければいけないのかなということは思います。ありがとうございます。

○　**教育委員（長井知子君）**　よろしくお願いします。

教育委員としての仕事は、特にはありませんでした。

本年度は、昨年川の悲しい事故が夏休み早々あったんですが、今年は特になさそうなので、ほっとしています。

また昔、前もお話ししましたけれども、ＰＴＡで防災のフェスタをやったときに、そのときに教えていただいたのが、自分の命は自分で守りましょう。自分の命を自分で守ったら、いずれその後に家族や友達と会えるということを教わりました。また避難所では、防災士の方にお聞きしたんですが、やはり性犯罪があるということもお聞きしました。改めて、熊本の地震もありましたが、自分の命は自分で守るということの大切さを

実感した夏となりました。以上です。

○　**教育長（堀部好彦君）**　防災、災害対応については自助・共助・公助という見方、考え方があるんですけれども、その中で自助、自分の命は自分で守るということをまず大切にしましょうというのはそのとおりで、子供たちにも、ふだん学校においても命を守る訓練の中でそういった見方ができるように、具体的にじゃあ何をすれば自分の命を自分で守ることになるのかということも含めて指導しておるところなんですけれども、本当にこの夏はそういうこともいろいろ考える機会が多かったかなと改めて思います。ありがとうございました。

○　**教育委員（瀬川登美子君）**　よろしくお願いします。

私も特に行事もなく、報告とかもないんですが、先日教育長もおっしゃっていた、可児ではかにっこｌａｂｏツアーがありますよということで、広報紙にも案内が載っていたので、８月頭に実施されたということですので、子供さんたちのまた感想とかが聞けたらいいなあなんて思っています。

あと愛知県なんかでも、子供たちの教育を支援したいという企業が、笑顔に貢献したいからということで、６月から７月にかけて、小学校を対象に４校ほど児童向けに出前授業をされたそうなんです。出張工場見学という形で実施されたそうなんですけど、内容は、某企業さんなんですけど、内容は電気を安全に使うためのブレーカーの分電の仕組みを学ぶ、工場の安全対策について学ぶという課題だったみたいなんです。子供さんの興味を引いたものというのは、地震が起きたとき、ブレーカーが落ちる実験が面白かったんだそうです。

また、ほかのところでも７月末には特許庁の仕事の体験、霞が関なんかで、商品の開発をして、特許庁なので、そういう子供たちが注目する体験ができるというのがすばらしいなあと思って、目についたんですけれども、その中でも何が面白いかというと、名前を自分でつけて商標の出願をするという体験だったみたいなんです。それはとにかく楽しかったというふうに子供さんたちが絶賛していた、終始笑顔だったというふうに言っていたので、すばらしいんだなと思いながら、出前授業というのはなかなか可児市ではあまりお聞きしないんですけど、企画してできるようなものなんでしょうか。

○　**教育長（堀部好彦君）**　企業による出前授業って、どこかで行ってなかったか。広見小学校とか違ったかな。

○　**事務局長（宮原伴典君）**　サントリーが、土田小学校で環境教育とか。

○　**教育長（堀部好彦君）**　土田小学校でしたか。

○　**事務局長（宮原伴典君）**　はい。

○　**教育委員（瀬川登美子君）**　そうなんですね。じゃあ、きっと子供たちはすごく興味を持って。体験するということがとても大事なようなので、そういう機会が増えるといいなあと思います。

○　**教育長（堀部好彦君）**　ありがとうございます。

キャリア教育の観点からのお話でしたけれども、かにっこｌａｂｏについても、そういった企業が参画してくださる、サントリーも出前授業をやってくださるということについては、これは先ほどの最初の話に戻りますが、行政や学校への信頼ですよね。地域の信頼があるからこそできることではないかなあと。

それから出前授業については、加えて、つきせぬというＮＰＯ団体が可児市にはあって、キャリア教育に資するようなお話を様々な講師がやってくださっている仕組みもあるんですね。これも学校、行政への信頼の表れだなと思っております。ありがとうございます。

議事

○　**教育長（堀部好彦君）**　それでは、議事に入ります。

○　**事務局長（宮原伴典君）**　それでは、議案書のほうを御覧ください。

表紙をめくっていただきますと目次にありますとおり、最初に配った議案書のほうには３件載っております。

まず、議案第24号　教育に関する予算の意見について（令和８年度可児市一般会計補正予算（第３号））、議案第25号　令和７年度可児市教育委員会事務の点検・評価について、議案第26号　要保護及び準要保護児童生徒の認定について。

追加の議案書のほうにあります議案第27号　重大事案に対する調査について。

以上、４件についてよろしくお願いします。

○　**教育長（堀部好彦君）**　本日議事の議案第24号　教育に関する予算の意見について（令和８年度可児市一般会計補正予算（第３号））、議案第26号　要保護及び準要保護児童生徒の認定について、議案第27号　重大事案に対する調査について、その他の不登校児童生徒の状況について及び児童生徒校内事故、問題行動、交通事故等の記録についてに関しては、意思形成に係る案件や個人情報、プライバシーに関する情報のため、教育委員会会議規則第14条の規定により非公開とすることにしたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議がないようですので、これらの件については非公開とします。

それでは、議案第25号　令和７年度可児市教育委員会事務の点検・評価についてを議題とします。

○　**教育総務課長（倉知真弓君）**　それでは、議案書２ページをお願いします。

議案第25号　令和７年度可児市教育委員会事務の点検・評価について。

令和７年度可児市教育委員会事務の点検・評価を別紙のとおり決定する。令和８年８月19日提出、可児市教育長　堀部好彦。

それでは、別紙２の資料をお願いします。

令和７年度可児市教育委員会事務の点検・評価報告書です。

内容の説明は、７月27日に開催しました教育政策会議において説明させていただきましたので、ここでは省略させていただきます。

なお、本報告書については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第１項に基づき、教育事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い作成したもので、御承認いただいた後は議会に提出し、その後公表いたします。以上です。

○　**教育長（堀部好彦君）**　ただいまの事務局の説明について、御質問、御意見等ありますでしょうか。

よろしいですか。

〔挙手する者なし〕

特にないようですので、この件について承認することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議がないようですので、この件については承認をいたします。

各課所管事項

○　**教育長（堀部好彦君）**　続いて、各課所管事項です。

○　**事務局長（宮原伴典君）**　私のほうからは、明日から９月議会のほうが始まるということでして、今回の９月議会におきましては、教育委員会からの議案等におきましては教育委員の再任というところで、梶田委員が９月末で第１期の任期満了ということになりますので、また再任ということで提出させていただいています。

あと一般質問につきましては、現在３人の議員から出ておりまして、コミュニティ・スクールに関することとＩＣＴ教育に関すること、あと皆さん御存じかどうか分からないですけど、７月３日付で文科省から事務連絡ということで、酷暑とかあるので、長期休業期間中に学校施設を開放して子供を受け入れてもらいたいというものがありました。それに係る質問と、あといわゆる芸術鑑賞に係る部分の質問が出ております。

一般質問は来月の頭のほうにあるわけでして、今はその答弁調整をさせてもらっています。いずれの質問につきましても、特に問題点があってどうこうということではなくて、文科省の事務連絡につきましては、学校施設開放といいながらも、あの連絡の文書のほうには、学校施設の開放のことについては大きく触れていなくて、どちらかというと公民館とか図書館等、ああいったところ、可児市でいうと地区センター14か所で学習室開放をしてくれていたりしているので、そういった部分の充実を図るということになるのかなと思います。そういったことの一般質問が出ておりまして、対応させていただくということになっております。以上です。

○　**教育長（堀部好彦君）**　ありがとうございます。

○　**教育総務課長（倉知真弓君）**　主な工事の進捗状況なんですけれども、今年度10校でトイレの工事をやっておりまして、夏休みはふだんできない騒音が出る解体工事を中心に行っております。工事のほうは順調に進んでいるということです。

あと、ふだん教室に入ったりできないものですから、教室の棚を直すとか、そういうふだんできないことを中心に、環境整備員が毎日一生懸命暑い中、直してくれています。以上です。

○　**教育長（堀部好彦君）**　ありがとうございます。

○　**学校教育課長（上北泰久君）**　お願いします。

前回の教育委員会会議以降の学校に関わる動きを報告させていただきます。

この夏休み期間中に猛暑の日々が続いておりまして、児童・生徒が自転車でいろいろなところに移動しているときなんですけど、熱中症の疑いで気持ち悪くなって、その場に座って、近隣の方に対応していただいたということと、それから操作を誤って、これは自分で転倒してしまったんですけれども、けがをしたという事案がありました。それ以外には、大きな事故の報告は今のところ入っておりません。

ただ、夏休みが残り２週間ありますので、先日保護者向けにすぐーるを配信して、交

通安全、それから水難事故防止、熱中症の予防の３点について改めて注意喚起をさせていただきました。

なお、この夏休み中、家族で川や海へ行く機会にライフジャケットの貸出件数、今、文化スポーツ課で取り扱っているんですけど、約140家族の計235着、調整してですけれども、保護者の協力の下、児童・生徒の着用の意識を高めることができていると聞いております。

また、先ほど教育長もお話しありましたが、広報等でも学校からも水難事故防止の対策やライフジャケットの貸出しの啓発を行っておりますので、今後も安全で楽しい活動のために、着用習慣の継続を促していきたいと思います。

２週間後から学校が始まりますが、８月末にはすぐーるを配信して、不安定になりがちな児童・生徒への早期の対応に向けて、ＳＯＳの出し方教育に係る実践などを繰り返し啓発していきます。９月初旬の校長会や教頭会でも情報を共有して、対応していきたいと思います。

また、並行しながら、学校生活が始まってから全ての学校の生徒指導主事と連絡を取って、気になる児童・生徒の夏休みの様子を共有して、必要に応じて気になる児童・生徒へのアプローチやケース会を進めていきたいと思っています。以上です。

○　**教育長（堀部好彦君）**　ありがとうございます。

○　**教育研究所主任指導主事（杉本和昭君）**　お願いします。

本日資料はありませんが、口頭で報告させていただきます。

夏季休業中に初任者研修等、研修講座を開催しました。200人近くの先生方が参加され、興味・関心を強く持って研修に臨んでいました。

７月24日には初任者研修を行いました。午前中はスマイリングルームで可児市の不登校対策について、午後は可児郷土歴史館で可児市の自慢と誇りについて学びました。郷土歴史館の見学では、可児市にはこういうものがあるんだと子供のように興味津々でした。きっと今回の発見や感動体験を基に、学校へ戻ったら子供たちに可児市の自慢と誇りを語ってくれるんじゃないかと思っております。

今回の初任研で、４月から７月までの振り返りを書かせました。その中から１つ紹介して、報告とさせていただきます。

４月から７月まで慣れないことも多く、毎日がいっぱいいっぱいで自分のやりたいこともやり切れないことが多く、悩むことがありました。周囲の先生方にも恵まれ、今では何とか自分らしく教員生活を送れていると感じています。何よりも、子供の成長する姿を見られることがうれしいです。夏休み明けからも学級全員をしっかりと大切にし、私自身も学び続けていきたいです。

多くの初任者が、初めて教員生活でたくさんの悩みや苦しみがあったものの、周りの職員に支えられて何とか乗り切ってきております。この初任者の感想にもありましたが、子供の成長する姿がうれしいと、教師としての生きがいを実感している初任者も多くいます。今後も、教師になってよかった、子供の笑顔や頑張る姿が私の原動力と言えるように支えていきたいと思っております。以上です。

○　**教育長（堀部好彦君）**　ありがとうございます。

○　**学校給食センター所長（後藤道広君）**　学校給食センターのほうからは特にございま

せん。

○　**教育長（堀部好彦君）**　今、各課からの話につきまして、御質問、御意見ございますでしょうか。

〔挙手する者なし〕

初任者研修の話はうれしいですね。本当にうれしく伺いました。初任者の先生、全員参加ということでしたか。

○　**教育研究所主任指導主事（杉本和昭君）**　はい。

○　**教育長（堀部好彦君）**　そうですか。これは本当にそれぞれの学校の先生方、校長先生はじめ先生方のお支えのおかげだし、それから教育研究所の指導主事の働きかけも大きいのではないかと思っております。本当にありがとうございます。

委員からの提案協議事項

○　**教育長（堀部好彦君）**　それでは、次に教育委員からの提案協議事項についてを議題とします。

何かございますでしょうか。

よろしいですか。

〔挙手する者なし〕

その他

○　**教育長（堀部好彦君）**　それでは、次にその他に行きます。

次回の日程等です。

○　**教育総務課長（倉知真弓君）**　次回会議の日程ですが、９月17日木曜日の午後２時からということでよろしくお願いします。場所は市役所４階第３会議室です。以上です。

○　**教育長（堀部好彦君）**　ありがとうございます。それではよろしくお願いします。

このまま続けさせていただくことでよろしいでしょうか。

〔「はい」の声あり〕

これより会議を非公開とします。

（以下非公開）

（以上非公開）

閉会の宣告

○　**教育長（堀部好彦君）**　それでは、以上で全て終わりましたので、これにて教育委員会会議を閉会します。ありがとうございました。

閉会　午後３時30分